

“Let'sチョイ読み！ お金の知恵の活かし方”を 「知るぽると」WEBサイトに公開しました



とくに、スマートフォンで読む方を意識し、1コンテンツ読み切り型として、ページ分割（一つの記事を複数に分割して読むスタイル）にはせず、上下のスクロールにより一つの記事が読みやすくなるようにしています。

金融広報中央委員会では、お金についての情報を、もっと暮らしに役立てていただきたい。そんな気持ちから、本誌『暮らし塾 きんゆう塾』をはじめ、さまざまな刊行物・記事を「知るぽると」WEBサイトに掲載しています。

そうした皆さんに通勤途中や外出先の休憩時間で、いつでもどこでも、簡単だけど本格的なお金や暮らしの知恵が学べるよう、新たな記事をお届けします。

それが今回ご紹介する新しいコンテンツです。チョイと読んで、しっかり学べます。

分かりやすさや読みやすさの観点から、いくつかの工夫をしています。

給与明細、チェックするのは振込額だけでいい?



初學者向け 家計管理

タグ(キーワード)

給与明細

源泉徴収

税金・社会保険

給与明細には何が書かれている?

待ちに待った給料日、いろいろな項目ごとに数字が書かれた給与明細を開いて、あなたはどこを見ていますか? 「どこって、それは残業代がいくらで…いくら給料が振り込まれているか…」、つぎ

記 事を「初心者向け」、「一般向け」に分け、一目で対象が分かるようにしています。「初心者向け」では、基礎的な金融知識からご用意しています。一方、「一般向け」では、既婚、シングル、子どもの有無、年代別など、ライフスタイル別のタイムリーな情報発信をしています。

毎月に使える金額はどこに書いてある?

タグ(キーワード)を見るだけで、記事を読むと学べるポイントが分かるので、関心のあること、興味のあることが簡単に見つけられるようになっています。

大きく「支給欄」、「控除欄」、「勤怠欄」がありますが、このうちの支給欄と控除欄について

会社から支給されるさまざまなお金のことが記載されています。「基本給」に加えて、「役職手当」「通勤手当」「時間外手当」など、いろいろな手当の詳細がこの支給欄に書かれます。ただ、総支給額(総支給額)は、いわゆる「額面」の金額で、実際に使える金額ではありません。

総支給額から差し引かれるお金のことが記載されています。この差し引かれるお金には、税金と社会保険料のほか、組合活動費、加入する団体保険の保険料などがあります。総支給額からこれらの控除額を差し引いた「差引支給額」が、給与口座に振り込まれ、実際に使える、支出や貯蓄の基準となる金額なのです。

支給	基本給	通勤手当	総支給額
	180,000円	20,000円	200,000円
	社会保険料合計	税額合計	控除額合計



Let's チョイ読み!

お金のことや、金融情報をもっと知りたい、学びたいと思いながらも、難しいからと遠ざけていませんか? 当委員会が自信を持ってお届けする、簡単で本格的なお金の知恵の活かし方をぜひご覧ください。



<https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/choiyomi/>